

実践例「体育」

【支援籍学習の目的】川越特別支援学校ガイドラインより
 ○地域との**関係を深める**とともに、在籍校（学級）以外の学校（学級）において学ぶことにより、**「社会で自立できる自信と力」**を育む。（川越特別支援学校）
 ○同じ地域に住む障害のある児童生徒と学級の一員として学ぶことにより、**「心のバリアフリー」**を育む。
 （支援籍校）

【題材・単元名】
「バレーボール」

【対象学年】
中学2年生

- 【ねらい】
- ・ 同年代の仲間との活動に意欲を持って参加できる。（川越特別支援学校生徒A）
 - ・ 一緒に活動をお互いに楽しむことができる。（支援籍校生徒）

時間	活動内容	目標		留意点
		○生徒A	◎支援籍校生徒	○本校 ◎支援籍校
	登校後教室に行き、その後には友だちと一緒に体育館へ ・ 集合整列挨拶 ・ 本時の確認 ・ 準備体操 ①個別練習 ・ オーバーハンドパス ・ アンダーハンドパス ②二人組でのパス ③ネットの挟んでのパス ④円陣を組んでのパス ⑤スパイク練習 ⑥ゲーム ・ 片付け ・ 整理体操 ・ 挨拶	○前で挨拶ができる ○集団の動きに合わせられる ○活動内容を理解して取り組むことができる ○ルールや相手を理解して取り組むことができる ○ルールを理解し、集団の中で活動できる ○一緒に片付けに参加できる ○前で挨拶ができる	◎受け入れ態勢をつくる ◎個人の技能を理解し、一緒に取り組むことができる ◎特性に配慮しながら、一緒に活動を楽しむことができる	◎ホワイトボードに本日の内容の記載とねらいを書く。 「○○ちゃんとエンジョイバレー」 ○必要に応じて適宜声かけをする。

- 【評価】
- ・ 活動と一緒に楽しむことができ、練習したパスの成果を出すことができたか。（生徒A）
 - ・ やり直し等の特別ルールや声をかけて優しくボールを繋ぐ等の配慮ができたか。（支援籍校生徒）

【支援籍校教員から】

- ・ 落ち着いて参加できていた。
- ・ 支援校の生徒も登校を待ちわびていて、自分たちから関わっている様子だった。
- ・ 挨拶や感想発表もでき、積み重ねのよさを感じた。